

2022年度

事業年報

総合健診推進センター

事業年報発行にあたって

ご挨拶 *greeting*

平素より当センターが実施いたしております各種の健診（検診）事業や、外来診療、特に結核診療にあたりましては、格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

当センターでは下記の行動指針に従い日々健診（検診）、診療に努めております。

- *科学的に信頼できる正確なデータを提供します
- *心のこもった質の高いサービスで接します
- *健康維持、増進に役立つ情報を提供します
- *お一人お一人の健診結果に合わせた丁寧な指導を行います
- *医療知識、健診（検診）技術を高めるため努力を重ねます
- *個人情報を守りコンプライアンス遵守を徹底します

この度 2022 年度の事業実績をまとめましたのでご報告いたします。

当センターは健診（検診）、外来診療、及び読影を主な業務としております。健診部門は出張健診、施設健診、及びネットワーク健診を実施しており、2022 年度の健診数は出張健診（検診）96,887 件、施設健診（検診）34,320 件、ネットワーク健診 70,534 件を実施いたしました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大による健診自粛の影響もあり、未だコロナ禍以前の健診数に戻っていないのが現状です。一方、読影は胸部及び胃透視の読影が主で 421,119 件実施しており、逆に年々増加しております。今後、コロナ感染の影響が徐々に少なくなってくるものと思われますが、所内での感染防止に努め、安心、安全で信頼される健診（検診）、診療を続けてまいりたいと存じます。また、外来診療は結核診療を主とする呼吸器外来や、消化器、循環器、生活習慣病外来、公害診療等を開設しており、延べ 11,027 名が診療を受けました。特に呼吸器外来は都内で唯一の結核専門外来となっており、そのため外国人患者、主に東南アジア、東アジアの方々の受診が増加していましたが、新型コロナウイルスの世界的蔓延により入国者が減少しており、未だ受診者数はコロナ感染前までに回復しておりません。

当センターの母体である結核予防会は、当時の皇后陛下のご下賜金を基に全国からの寄付を募り、1939 年（昭和 14 年）に設立され、それとともに第一生命のご寄付を頂き当センターの前身である第一健康相談所が設立され、結核診療、結核検診を開始いたしました。1975 年（昭和 50 年）に第一健康相談所附属総合健診センターと名称を変更し、さらに 2015 年（平成 27 年）現在の総合健診推進センターと改称し、結核検診に加え生活習慣病健診を開始し、さらに人間ドックを増設いたしました。

当センターは結核検診、診療からスタートし、COPD など呼吸器疾患や、生活習慣病健診に活動領域を広げ、日本の結核検診、および生活習慣病健診の進歩と共に歩んでまいりました。今後もさらに受診者の健康維持・増進に貢献できるよう一層の努力を行ってまいりたいと存じます。

2024 年 7 月

公益財団法人結核予防会 総合健診推進センター

所長 宮崎 滋

公益財団法人結核予防会 総合健診推進センター



事業理念 philosophy

安全、安心な健診で、
健康をお届けします

集団検診発祥の地、第一健康相談所の伝統を受け継いで、
最高の診療と健診、保健指導を提供します
たゆまず改善と研究に取り組み、国民の健康増進に貢献します

基本方針 Basic policy

1. 精度の高いサービスを提供します
2. 心温かく接します
3. お待たせしないよう努力します
4. わかりやすい結果説明をします
5. 保健指導を行い生活習慣病の改善を支援します
6. プライバシーを守ります

個人情報保護方針

当センターは、個人の権利・利益を保護するために、お客様の個人情報を適切に管理することを社会的責務と考えます。そのために、以下の個人情報保護方針を定め、確実な履行に努めます。

1. 当センターは、総合健診推進センターの管理運営上、大量の顧客個人情報を扱うため、個人情報の収集、利用、提供、預託を適正に行い、特に個人情報の廃棄に関しては万全を期します。
2. 常に最新状態に維持された個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守するとともに、個人情報保護計画を策定・実施・維持し、継続的な改善に努めます。
3. 総合健診推進センターの管理運営に必要な医療・健診にかかわる範囲においてのみ、お客様の個人情報を収集、提供いたします。また、その利用目的に関しては事前に明示いたします。
4. 故意又は過失により、個人情報が漏洩し、改竄され、消去され、紛失し若しくは窃取され、又は不正に利用されることがないように、十分なセキュリティ対策を講じ、安全な管理に努めます。万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。
5. お客様ご本人が個人情報の照会（内容の確認・訂正あるいは利用停止等）をご希望される場合は「お客様相談窓口」にご連絡いただければ、調査のうえ適切に対応させていただきます。なお、診療情報の提供・開示に関しては、別に定める内部規則により対応いたします。
6. 当センターでは、一部の検査等を外部の検査会社等に委託する場合がありますが、信頼のおける委託先を選択すると同時に、委託先との間で、個人情報保護に関する契約を締結し、定期的に監査を実施します。
7. 職員に対し、個人情報保護に関する教育や監査を定期的かつ徹底して行い、適切な知識及び運用を維持します。
8. 個人情報はお客様ご本人以外には原則公開いたしません。但し、会社や健康保険組合等から要請があれば、お客様ご本人との同意が得られている範囲内において検査結果をお知らせいたします。
9. 上記の基本方針に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

【お客様相談窓口】

担当：総務課長

TEL:03-3292-9215

FAX:03-3292-9335

令和3年6月1日

公益財団法人結核予防会 総合健診推進センター

所長 宮崎 滋

目 次

事業年報発行にあたって

I. 事業概要

センター全体の事業概要	2
-------------------	---

II. 健康管理事業実績

1. 総実施状況	4
2. 事業別実施状況	5
1) . 巡回健診事業	5
2) . 施設健診事業	6
3) . ネットワーク健診事業	7
4) . 広域支援事業	7
5) . 読影事業	7
6) . 外来診療事業	8
7) . 健康支援事業	8
3. 一般健康診断	9
4. 特定健康診査	13
5. 人間ドック	15
6. その他の一次健（検）診	16
7. 二次健診	18
8. 学校健診	19

Ⅲ. センター概要

1. 組織概要	21
2. 沿革	22
3. 組織図	24
4. 職員構成	25
5. 学会・所外活動等	28
6. 機器整備状況	31

I. 事業概要

1. 事業概要

■センター全体の事業概要

令和 4 年度は、収支改善検討部会において、①問題点の列举、②中長期達成時期の見極め、③優先度、④検討期間・決定時期・実施時期を定め、所内共通事項、出張健診部門、施設健診部門の事項を中心に適正配置も含めた検討計画を立案し、これらを推進するために改編した収支改善推進部会にて解決策を策定して実行に移した。一部については、継続課題としている。

福島県県民健康調査及び環境省受託事業については、時が経るにつれて徐々に受診者は減少しているものの、現在も大いに寄与している。

読影事業においては、新規顧客の獲得に努め、件数及び収入増となっている。

他の部門においても、それぞれが問題意識を持ちながら部課（科）を越えてチームとして事業を遂行し、健全事業運営と経営改善に向けて職員一丸となって事業に取り組んできた。

新型コロナウイルス感染症関連では、医療従事者向けのワクチン接種は行われなかったが、千代田区から区民向け新型コロナワクチン接種委託を継続し、その功績により千代田区長より感謝状が授与された。

継続しているカンボジア国健診・検査センターの事業については、健診技術、システム及び営業等に関して引き続き協力体制でいたが、新型コロナウイルス感染症の流行により渡航が困難となったため、現地においての協力が困難であった。

長期化している新型コロナウイルス感染症のまん延を踏まえて、感染防止を徹底しながら健診の質を保ちつつ事業を継続していくために、受診者が安心して受診できる健診、職員にとって安心して業務を遂行できる安全な健診体制を構築し、受診者ファーストを念頭に置き収益の増大を図った。

II. 健康管理事業実績

1. 総実施状況

事業内容	実施件数
巡回健診	96,887
施設健診	34,320
ネットワーク健診	175,839
広域支援	8,805
読影	421,119
外来診療	11,027
健康支援	617

2. 事業別実施状況

1) 巡回健診事業

内容		実施件数
事業所健診	定期健診	33,340
	人間ドック	71
	雇い入れ時健診	1,264
	特殊健診（単独）	1,457
	がん検診、単項目検診	1,323
学校健診	総合健診	12,415
	心臓検診	8,568
	腎臓検診	2,100
	結核検診	6,737
	結核問診票	6,785
結核検診（学校健診の結核検診を除く）		14,707
公害検診		568
予防接種		7,219
その他		61
二次健診事業	二次健診	272
	労災二次健診	0
	経過観察	0
計		96,887

2) 施設健診事業

内容		実施件数
事業所健診	定期健診	25,612
	人間ドック	2,967
	雇い入れ時健診	992
	特殊健診（単独）	260
	がん検診、単項目検診	175
	その他	141
学校健診	総合健診	336
結核検診		237
市町村住民検診		56
公害検診		1,861
特定健診		23
個人申込健診		167
予防接種		935
二次健診事業	二次健診	488
	労災二次健診	28
	経過観察	42
計		34,320

3) ネットワーク健診事業

本部・支部および提携医療機関の共同ネットワーク体制による全国規模の様々な事業所や健康保険組合の健康診断等の実施状況。

内容	実施件数
ストレスチェック	105,305
ネットワーク健診	70,534

4) 広域支援事業

東京電力(株)福島第一原子力発電所事故を由来とする福島県「県民健康調査」における「県外避難者に対する健康診査」及び「既存健診対象外の県民に対する健康診査」の実施状況。

並びに「水俣病被害者の救済及び水俣病問題の解決に関する特別措置法」に関して熊本県・鹿児島県・新潟県との契約に基づき行う健康診断の実施状況。

内容	実施件数
福島県県民健康調査「県外避難者に対する健康診査」	2,031
福島県県民健康調査「既存健診対象外の県民に対する健康診査」	6,453
熊本県・鹿児島県・新潟県「健康不安者フォローアップ健診事業」 及び「健康不安者に対する健診事業」	321

5) 読影事業

当センターの呼吸器専門医による結核・肺がん・じん肺検診などの読影事業の実施状況。

内容	実施件数
胸部X線単純撮影など画像検査	421,119

6) 外来診療事業

当センターの専門外来、また個人における健康診断等の実施状況。

内容	実施件数
一般外来	7,745
土曜診療	310
公害診療	1,861
管理検診	891
健康診断	220

7) 健康支援事業

特定保健指導に加え、ドック受診者や二次健診受診者に対しての保健指導、外来診療における生活習慣病プログラムの実施状況。

内容		実施件数
生活習慣病外来における保健指導および栄養相談の実施人数		62
特定保健指導	積極的支援	367
	動機付け支援	188
	合計実施数	555

3. 一般健康診断

総合判定の分布 | 性別・年齢階級別

当センターで健診を受けられた方のうち、一般健康診断や生活習慣病健診、協会けんぽ健診のコースの方について、性別、年齢ごとに総合判定の結果を集計した。なお、コースの内容は、各事業所により様々である。

表 1 性別・年齢階級別総合判定分布

(単位：件)

男 性							
年齢	判 定						計
	所見なし	有所見健康	経過観察	要精密検査	治療中管理中	要専門医受診	
～29 歳	1,059	2,393	3,084	1,426	134	115	8,211
30 歳～39 歳	748	1,925	3,517	1,985	463	257	8,895
40 歳～49 歳	376	1,149	3,397	1,989	1,347	460	8,718
50 歳～59 歳	222	706	2,961	1,742	2,938	772	9,341
60 歳～	65	240	1,204	746	2,666	587	5,508
合計	2,470	6,413	14,163	7,888	7,548	2,191	40,673

(単位：件)

女 性							
年齢	判 定						計
	所見なし	有所見健康	経過観察	要精密検査	治療中管理中	要専門医受診	
～29 歳	662	1,336	1,731	629	101	92	4,551
30 歳～39 歳	405	936	1,431	764	180	110	3,826
40 歳～49 歳	210	654	1,360	820	392	198	3,634
50 歳～59 歳	114	413	1,445	707	743	208	3,630
60 歳～	50	161	881	475	878	128	2,573
合計	1,441	3,500	6,848	3,395	2,294	736	18,214

総合判定の分布グラフ | 性別・年齢階級別

前ページの総合判定の結果の表をグラフで示した。一般健診の総合判定の結果は、男女とも年代が上がるとともに「所見なし」「有所見健康」が減少し、「経過観察」「要精密検査」「治療中管理中」「要専門医受診」が増加していた。

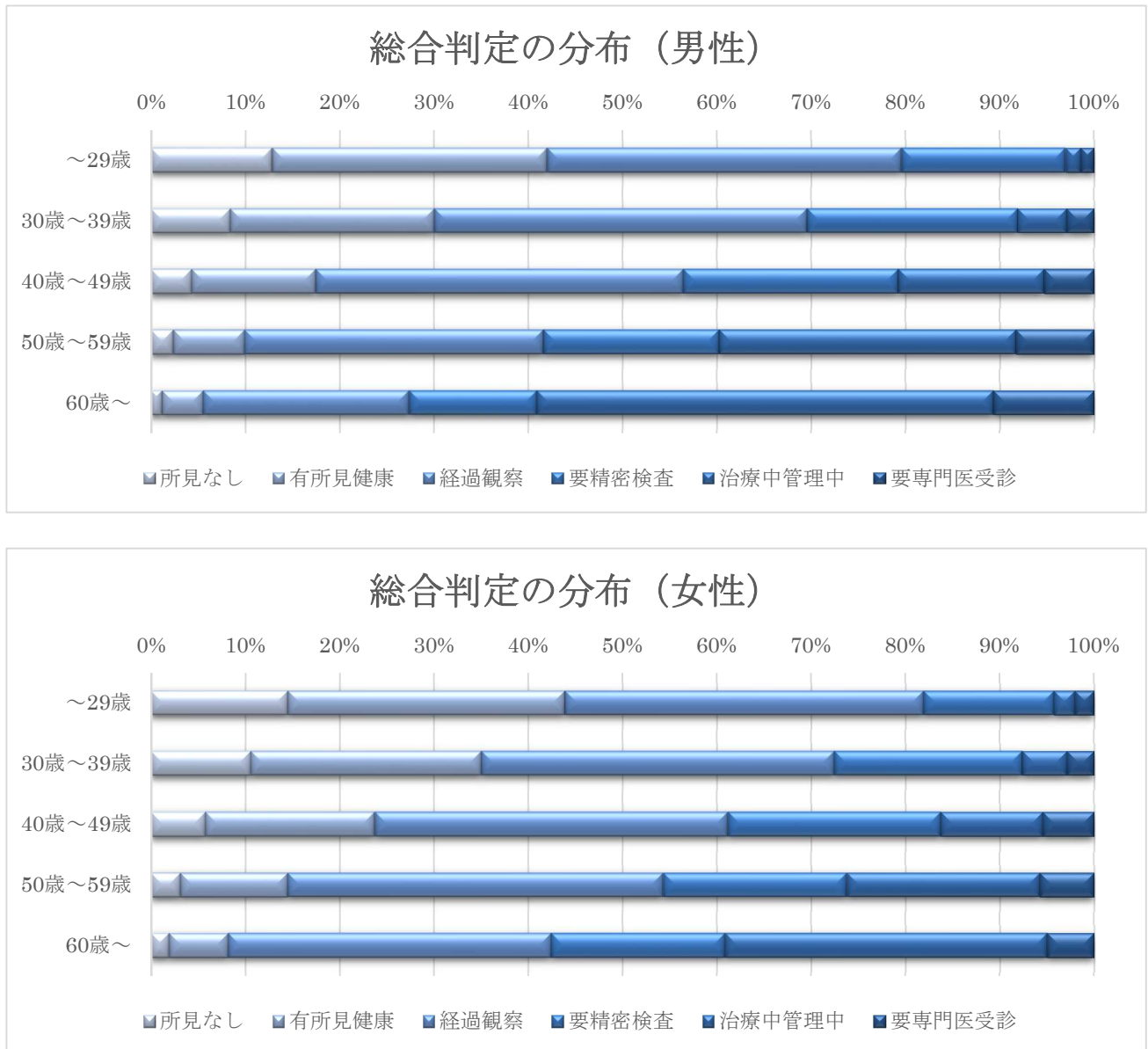


図1 性別・年齢階級別総合判定分布

検査項目別判定の分布 | 性別・全年齢

性別毎に、各種検査の判定結果の分布を集計した。

表 2 性別・検査項目別判定結果分布

(単位：件)

検査項目	男 性					
	判 定					
	所見なし	有所見健康	経過観察	要精密検査	治療中管理中	要専門医受診
聴力*	35,059	2,991	/	/	/	/
血圧	22,903	5,862	4,772	1,215	5,299	348
貧血	31,881	3,348	1,064	367	94	39
肝臓	23,061	5,649	2,865	5,069	289	111
脂質	13,764	9,110	9,165	2,715	1,987	67
糖代謝	20,168	12,513	4,935	581	2,079	213
尿酸**	22,062	3,980	1,585	456	1,387	/
尿**	37,003	2,274	664	328	134	/
胸部X線	32,737	3,072	270	278	44	0~5
心電図	28,097	2,651	2,269	362	243	181

(単位：件)

検査項目	女 性					
	判 定					
	所見なし	有所見健康	経過観察	要精密検査	治療中管理中	要専門医受診
聴力*	14,110	594	/	/	/	/
血圧	13,628	1,423	1,133	321	1,190	97
貧血	13,098	990	1,835	773	379	34
肝臓	15,456	926	419	500	90	16
脂質	8,530	3,750	2,985	1,138	619	14
糖代謝	10,467	5,271	1,664	127	332	48
尿酸**	12,060	147	93	15	22	/
尿**	15,977	1,121	234	159	22	/
胸部X線	15,666	1,208	121	134	15	0~5
心電図	13,683	919	537	129	34	32

注) 該当する人数が5人以下と著しく少ない場合は、個人特定を防ぐため0~5と表記した。

* 聴力の判定は「所見なし」、あるいは「有所見健康」のみで、「経過観察」「要精密検査」「治療中管理中」「要専門医受診」が存在しない。

** 尿酸、尿検査の判定は「要専門医受診」が存在しない。

検査項目別判定の分布グラフ | 性別・全年齢

一般健康診断の項目別判定の分布をグラフで示した。

男性では脂質、糖代謝、肝臓、血圧、尿酸で「所見なし」が少なく、「有所見健康」「経過観察」「要精密検査」が多く見られた。女性では、脂質、糖代謝、貧血で「有所見健康」「経過観察」「要精密検査」が多く見られた。

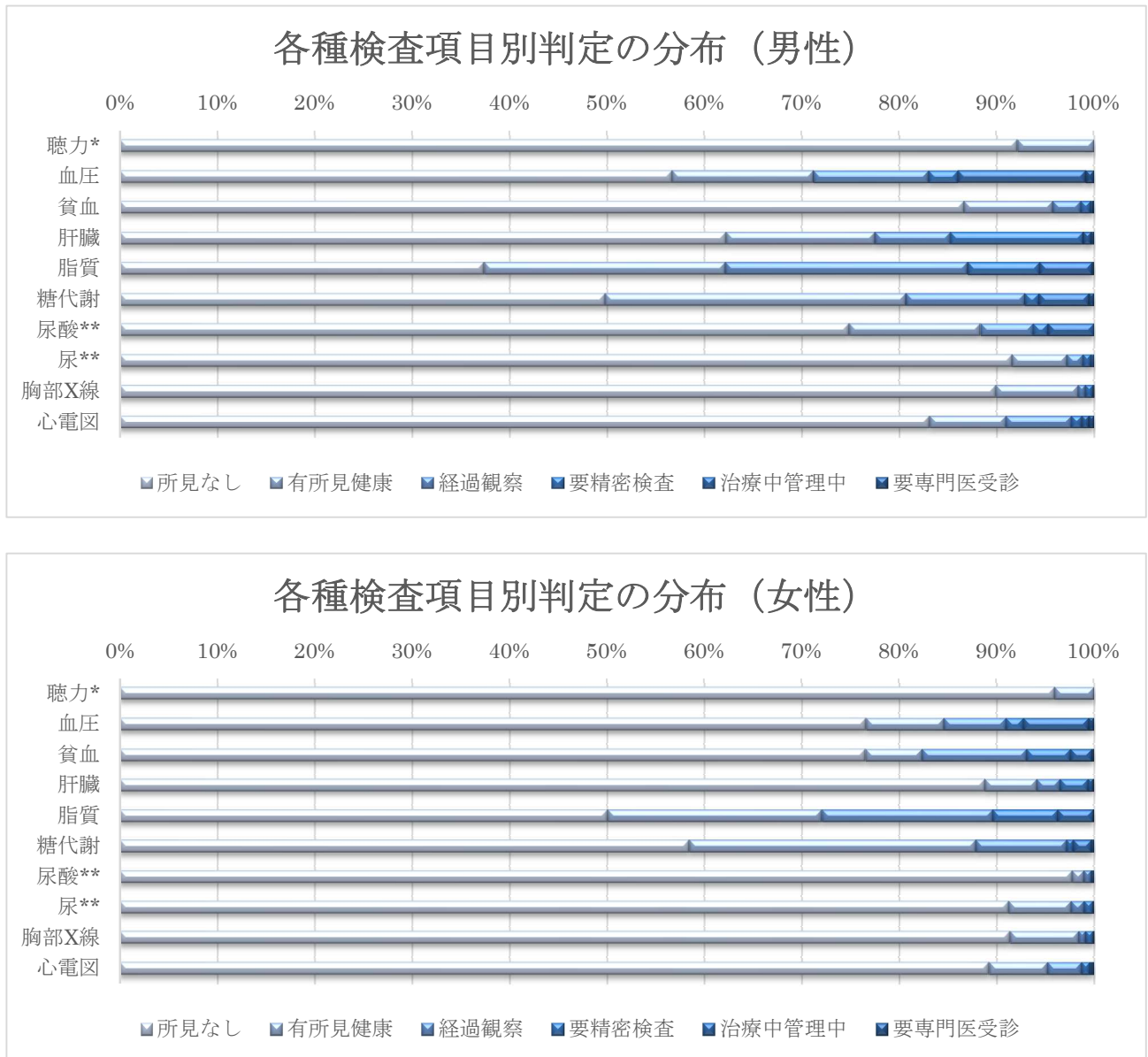


図2 性別・検査項目別判定結果分布

* 聴力の判定は「所見なし」、あるいは「有所見健康」のみで、「経過観察」「要精密検査」「治療中管理中」「要専門医受診」が存在しない。

** 尿酸、尿検査の判定は「要専門医受診」が存在しない。

4. 特定健康診査

特定健康診査の階層化 | 性別・年齢階級別

当センターでは人間ドックや一般健康診断の結果より特定健康診査の判定を行っている。

表 3 性別・特定健康診査階層化の分布

(単位：件)

男 性					
年齢	判 定				計
	積極的支援	動機付け支援	非該当	判定不能	
～29 歳	547	533	5,494	5,382	11,956
30 歳～39 歳	1,189	710	4,717	3,062	9,678
40 歳～49 歳	1,811	796	5,869	1,717	10,193
50 歳～59 歳	1,674	754	6,611	1,484	10,523
60 歳～	388	535	3,870	979	5,772
合計	5,609	3,328	26,561	12,624	48,122

(単位：件)

女 性					
年齢	判 定				計
	積極的支援	動機付け支援	非該当	判定不能	
～29 歳	18	87	3,271	4,621	7,997
30 歳～39 歳	61	160	2,812	1,055	4,088
40 歳～49 歳	131	233	3,016	746	4,126
50 歳～59 歳	157	196	2,952	618	3,923
60 歳～	53	131	1,948	968	3,100
合計	420	807	13,999	8,008	23,234

特定健康診査の階層化グラフ | 性別・年齢階級別

特定健康診査の階層化の結果をグラフで示した。

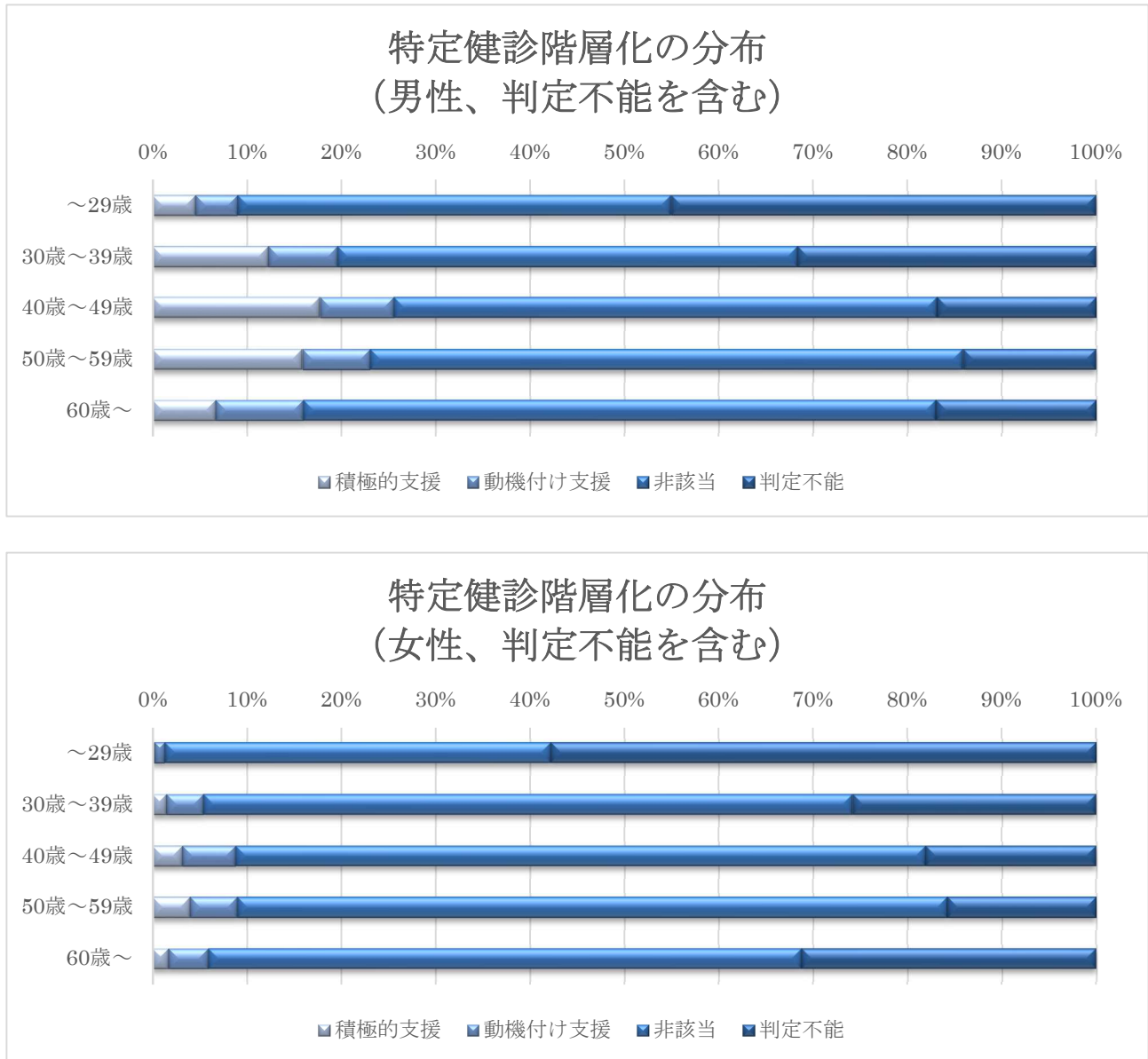


図3 性別・特定健康診査階層化の分布

5. 人間ドック

人間ドック総合判定の分布グラフ | 性別・全年齢

人間ドックを受診された方の総合判定結果の分布である。

表 4 人間ドック性別・判定結果分布

(単位：件)

性別	判 定					
	所見なし	有所見健康	経過観察	要精密検査	治療中管理中	要専門医受診
男性	0～5	112	673	450	431	645
女性	0～5	53	260	165	138	176

注) 該当する人数が5人以下と著しく少ない場合は、個人特定を防ぐため0～5と表記した。

人間ドックの判定の分布では、一般健康診断と比較して、「要精密検査」もしくは「要専門医受診」が多くなっていた。原因には、一般健康診断よりも検査項目が多いことが考えられるほか、一般健康診断よりも人間ドックを受けられた方の年齢層が高いことが考えられる。

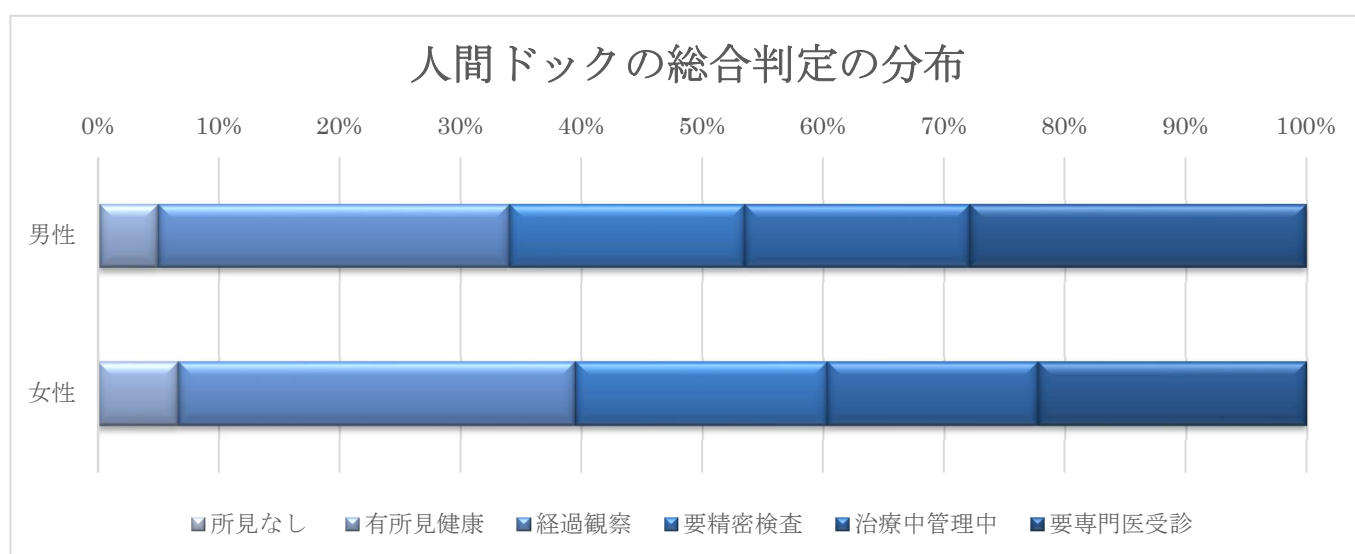


図 4 人間ドック性別・判定結果分布

6. その他の一次健(検)診

その他の一次健(検)診における検査判定の分布 | 性別・全年齢

一般健診、人間ドック、単項目検診、がん検診など、健診種別は異なるが、当センターで一次健(検)診を受けられた方の結果の分布である。

表 5 性別・検査別判定結果分布

(単位：件)

男 性						
検査項目	判 定					
	所見なし	有所見健康	経過観察	要精密検査	治療中管理中	要専門医受診
上部消化管造影検査	9,854	2,417	548	1,589	0～5	0～5
上部消化管内視鏡検査*	183	1,072	905	/	8	80
腹部超音波検査**	1,469	1,349	3,992	/	141	179
前立腺腫瘍マーカー***	5,516	/	/	/	/	227

(単位：件)

女 性						
検査項目	判 定					
	所見なし	有所見健康	経過観察	要精密検査	治療中管理中	要専門医受診
上部消化管造影検査	2,111	1,122	130	255	0～5	0～5
上部消化管内視鏡検査*	103	398	216	/	0～5	19
腹部超音波検査**	990	653	865	/	52	108
マンモグラフィー****	1,068	30	9	299	0～5	0～5
乳房超音波検査****	1,141	584	371	60	43	0～5
子宮・婦人科検査****	2,291	48	37	82	33	0～5

注) 該当する人数が5人以下と著しく少ない場合は、個人特定を防ぐため0～5と表記した。

*上部消化管内視鏡検査には、同時に生検による精密検査を行うので「要精密検査」の判定は存在しない。

**腹部超音波検査における判定は、「要精密検査」と「要専門医受診」を合わせて集計している。

***前立腺腫瘍マーカーは男性のみの検査である。

****マンモグラフィー、乳房超音波検査および子宮・婦人科検査の項目は女性のみの検査である。

その他の一次健(検)診における検査判定の分布グラフ | 性別・全年齢

一般健診、人間ドック、単項目検診、がん検診など、健診種別は異なるが、当センターで一次健(検)診を受けられた方の結果の分布である。

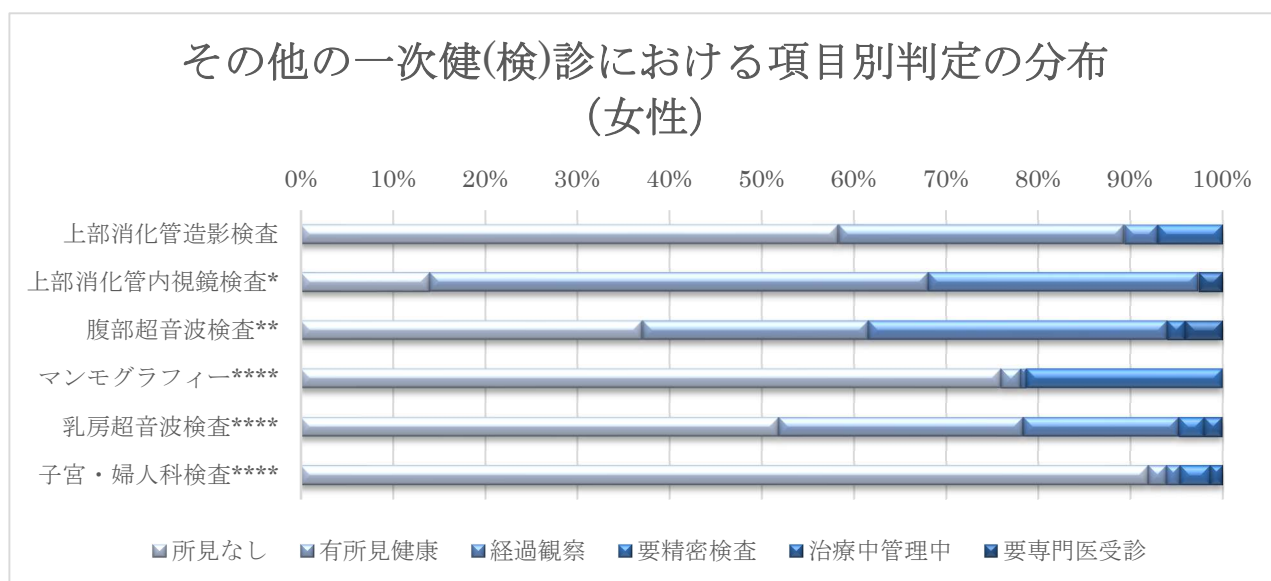
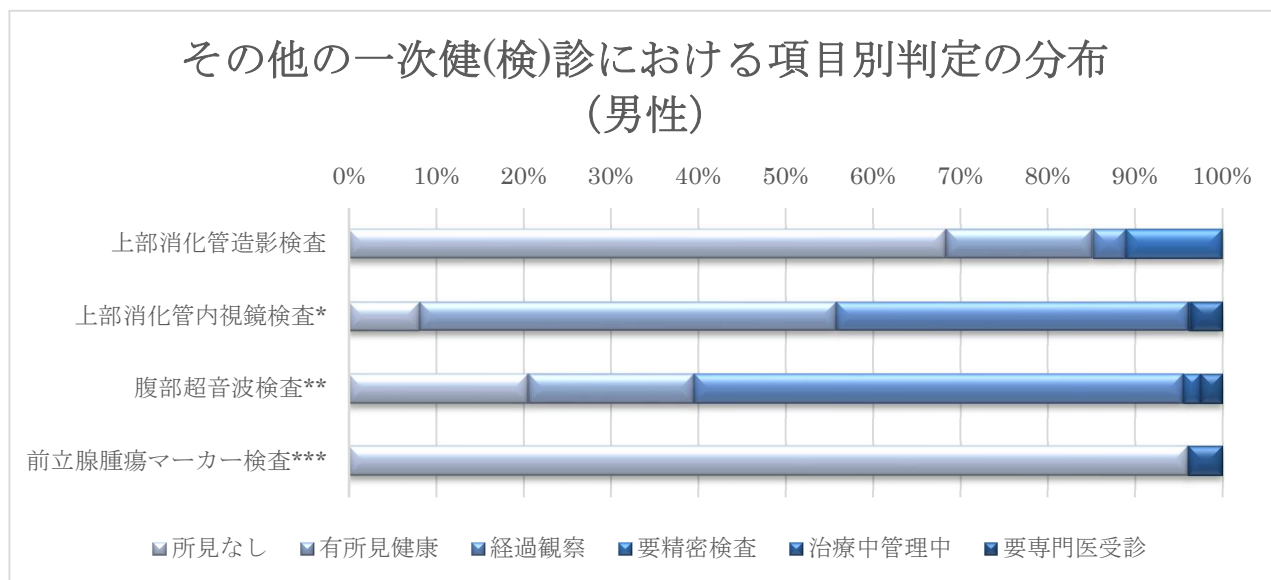


図5 性別・検査別判定結果分布

*上部消化管内視鏡検査には、同時に生検による精密検査を行うので「要精密検査」の判定は存在しない。

**腹部超音波検査における判定は、「要精密検査」と「要専門医受診」を合わせて集計している。

***前立腺腫瘍マーカーは男性のみの検査である。

****マンモグラフィー、乳房超音波検査および子宮・婦人科検査の項目は女性のみの検査である。

7. 二次健診

二次健診総合判定の分布 | 全体

二次健診を受けられ、当センターの判定基準を使われた方の性別と判定結果の分布である。

表 6-1 性別分布

	男性	女性	計
件数	413	130	543

表 6-2 判定分布（男女計）

（単位：件）

判 定					
所見なし	有所見健康	経過観察	要精密検査	治療中管理中	要専門医受診
0～5	0～5	293	0～5	8	241

注）該当する人数が5人以下と著しく少ない場合は、個人特定を防ぐため0～5と表記した。

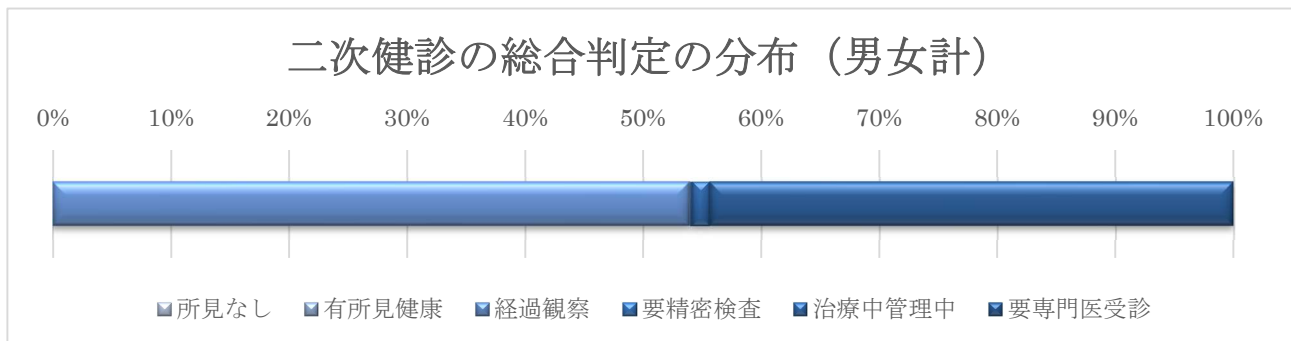


図 6 判定結果分布（男女計）

二次健診の総合判定の分布では、経過観察が最多であった。要専門医受診が次に多かった。

8. 学校健診

学校健診総合判定の分布グラフ | 学校種別・性別

学校健診のうち、眼科検診などを含む総合的な健診について、集計した結果である。

専門学校・短期大学・大学

表 7 性別・判定結果分布

(単位：件)

性別	判 定					
	所見なし	有所見健康	経過観察	要精密検査	治療中管理中	要専門医受診
男性	1,676	367	224	41	16	0~5
女性	2,313	370	230	70	18	0~5

注) 該当する人数が5人以下と著しく少ない場合は、個人特定を防ぐため0~5と表記した。

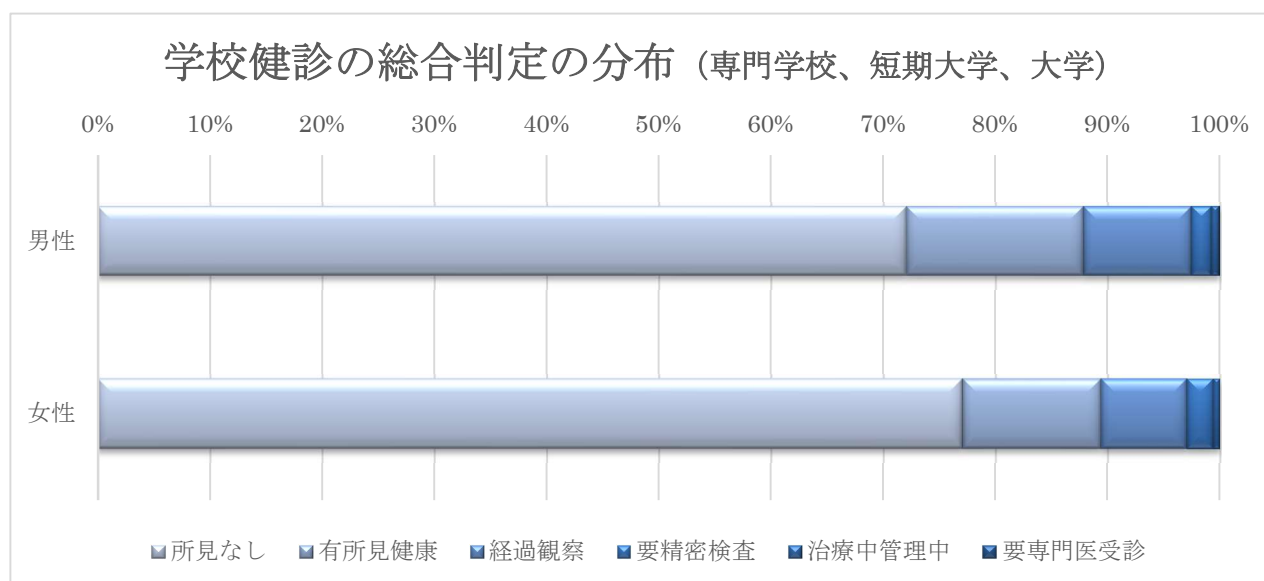


図 7 性別・判定結果分布

III. センター概要

1. 組織概要

施設名称	公益財団法人結核予防会 総合健診推進センター
所在地	〒101-8372 東京都千代田区神田三崎町 1-3-12 水道橋ビル 2F・3F・4F 電話 03-3292-9215（代表）
設立	1940 年（昭和 15 年）
所長	宮崎 滋
名誉所長	杉田 博宣

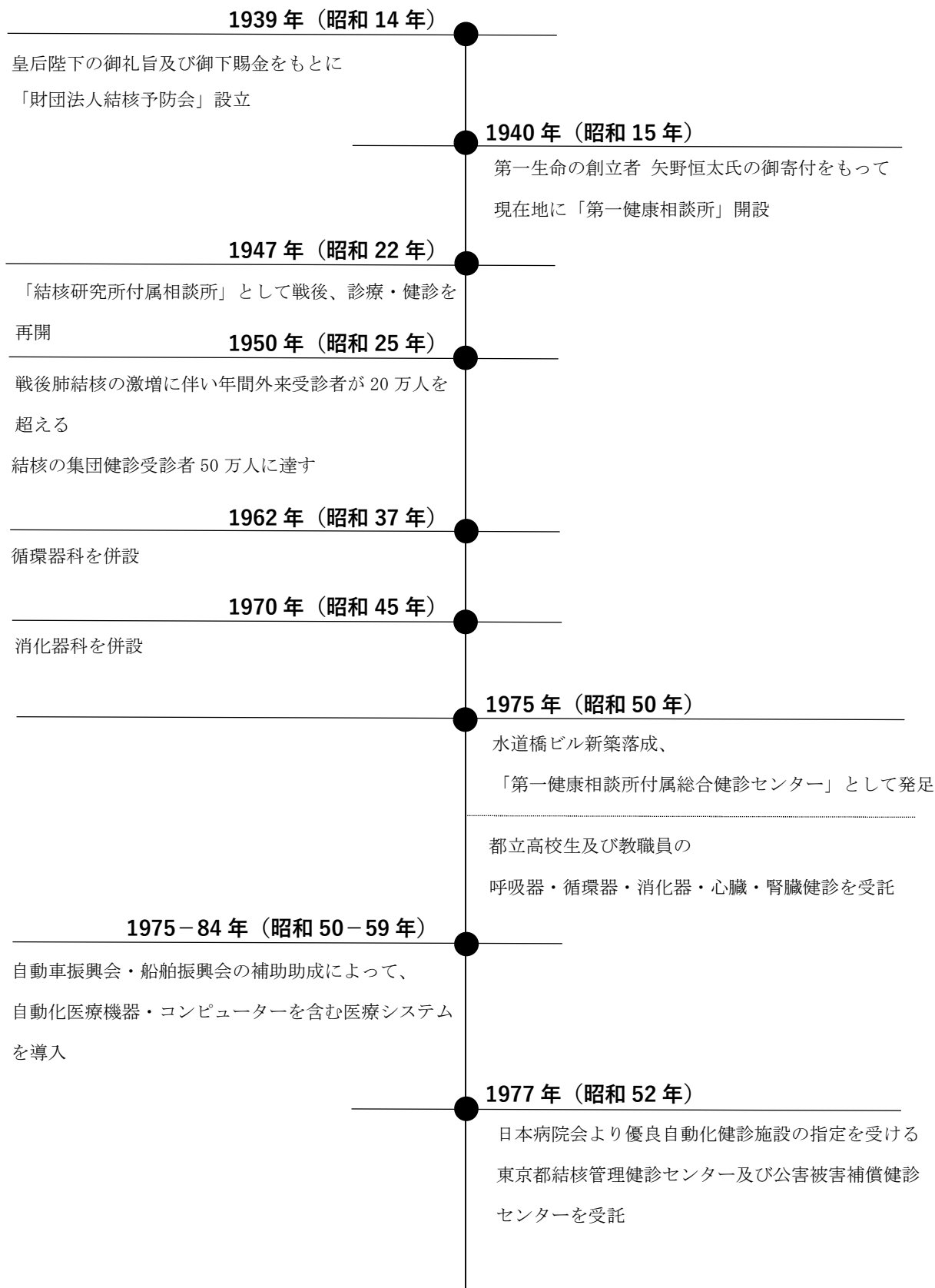


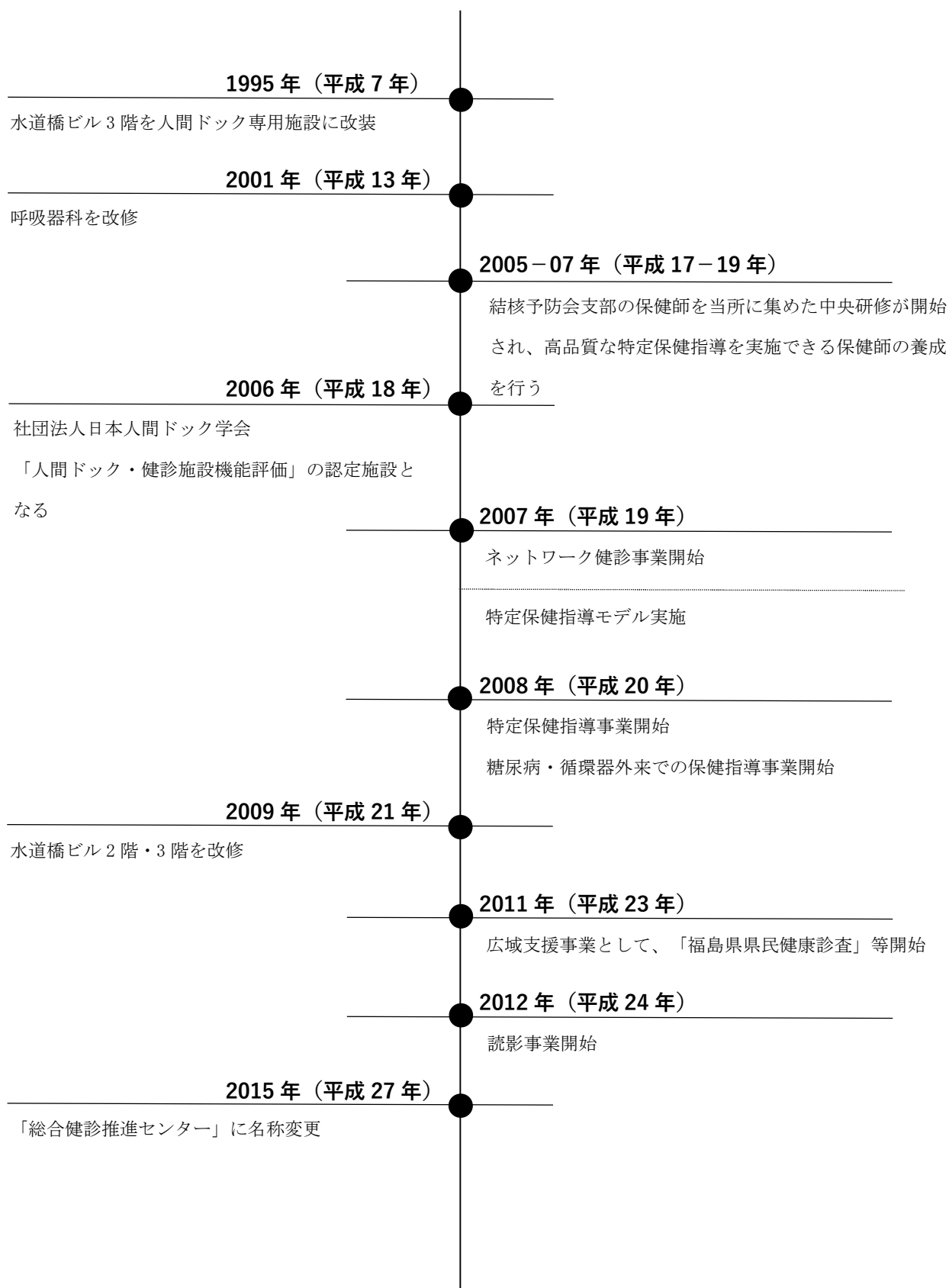
人間ドック・生活習慣病健診 入口



呼吸器科 入口

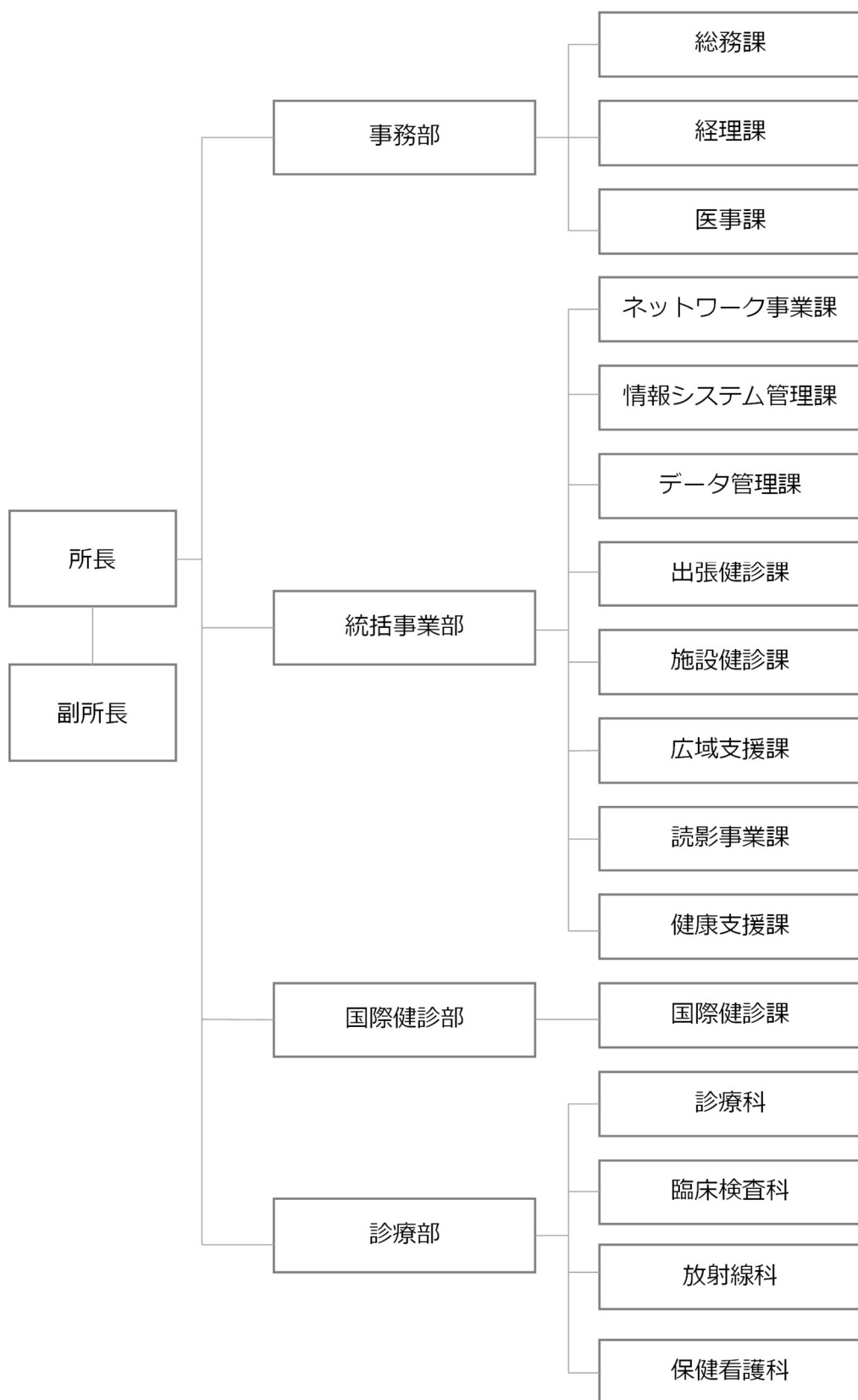
2. 沿革





3. 組織図

* 2023（令和5年）3月31日時点



4. 職員構成

部署別職員構成

* 2023(令和 5)年 3 月 31 日時点

区分		人数
所長		1
副所長		3
事務部	部長	1
	総務課	3
	経理課	3
	医事課	6
統括事業部	部長	2
	ネットワーク事業課	4
	情報システム管理課	3
	データ管理課	27
	広域支援課	7
	出張健診課	22
	施設健診課	35
	読影事業課	3
	健康支援課	7
国際健診部	部長(事務部長併任)	1
	国際健診課	4
診療部	部長	1
	臨床検査科	23
	放射線科	10
	保健看護科	16

資格認定

●国家資格など

区分	資格名称
医療	医師
	看護師
	厚生労働省 第一種衛生管理者
	診療放射線技師
	保健師
	臨床検査技師
	准看護師
その他	経済産業省 IT パスポート
	経済産業省 初級システムアドミニストレータ
	経済産業省 情報セキュリティマネジメント
	甲種防火管理者

●民間資格

区分	資格名称
医師	社会医学系専門医協会 社会医学系専門医・指導医
	日本医師会認定産業医
	日本結核・非結核性抗酸菌症学会 結核・抗酸菌症 認定医・指導医
	日本循環器学会 循環器専門医
	日本小児科学会 小児科専門医
	日本総合健診医学会 日本人間ドック学会 人間ドック健診専門医
	日本総合健診医学会 日本人間ドック学会 人間ドック健診専門医・指導医
	日本糖尿病学会 糖尿病専門医・指導医
	日本内科学会 総合内科専門医
	日本内科学会 内科専門医
	日本人間ドック学会 人間ドック認定医
	日本肥満学会 肥満症専門医・指導医
医療技術他	健康・体力づくり事業財団 健康運動指導士
	東京糖尿病療養指導士認定機構 東京糖尿病療養指導士
	東京都保健医療局 東京都肝炎コーディネーター
	東京都保健医療局 東京都肝疾患職域コーディネーター
	日本医療経営実践協会 医療経営士3級
	日本医療情報学会 医療情報技師

区分	資格名称
医療技術他	日本結核・非結核性抗酸菌症学会 登録 抗酸菌症エキスパート
	日本高血圧学会・日本循環器病予防学会・日本動脈硬化学会・日本心臓病学会 認定 循環器病予防療養指導士
	日本消化器がん検診学会 胃がん検診専門技師
	日本消化器がん検診精度管理評価機構 胃がんX線検診技術部門B資格
	日本消化器がん検診精度管理評価機構 胃がんX線検診読影部門B資格
	日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡技師
	日本診療放射線技師会 放射線管理士
	日本診療放射線技師会 放射線機器管理士
	日本超音波医学会 認定超音波検査士 1.健診領域
	日本超音波医学会 認定超音波検査士 1.消化器領域
	日本超音波医学会 認定超音波検査士 1.体表臓器領域 2.消化器領域 3.健診領域
	日本乳がん検診精度管理中央機構 デジタルマンモグラフィ品質管理
	日本乳がん検診精度管理中央機構 乳房超音波技術講習会 B評価
	日本乳がん検診精度管理中央機構 乳房超音波技術講習会 C評価
	日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ技術認定技師
	日本病院会 診療情報管理士
	日本不整脈心電学会 心電図検定1級
	日本不整脈心電学会 心電図検定2級
	日本不整脈心電学会 心電図検定3級
	日本臨床検査同学院 二級臨床病理技術士：臨床化学
	肺がんCT検診認定機構 肺がんCT検診認定技師

5. 学会・所外活動等

学会・講演・各種研修会

- ・宮崎 滋
2022 年 9 月 14 日 興和社内研修
肥満症 危険性、診断、治療
- ・宮崎 滋
2022 年 10 月 15 日 立川市生活習慣病予防講座
これが正解 生活習慣病の予防法
- ・宮崎 滋
2022 年 10 月 22 日 ウェルシアフェステバル 肥満症医学講座
肥満と年齢 暇に予防とフレイル対策
- ・宮崎 滋
2022 年 12 月 6 日 東京医療保健大学 栄養学講義
肥満と栄養
- ・宮崎 滋
2022 年 12 月 14 日 住友ファーマ社内研修
肥満 2 型糖尿病の診療 体重減少の有用性
- ・宮崎 滋
2023 年 3 月 4 日 日中友好残留孤児虹の会研修会
老後の健康生活 健やかな健康生活を目指して
- ・田川 齊之
2022 年 6 月 9 日／2022 年 11 月 16 日 結核研究所
医師・対策コース
- ・中西 好子
2022 年 9 月 10 日 第 182 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部学会
超多剤耐性結核の家族内感染事例の接触者健診

実行委員等

- ・宮崎 滋
日本肥満学会 名誉会員
- ・宮崎 滋
日本肥満学会 肥満症診療ガイドライン 2022 検討拡大学術委員会 委員
- ・宮崎 滋
日本生活習慣病予防協会 理事長
- ・宮崎 滋
日本肥満症予防協会 副理事長
- ・宮崎 滋
スローカロリー研究会 理事長
- ・宮崎 滋
タニタ コア技術研究所 名誉所長
- ・宮崎 滋
肥満治療薬の最適使用推進ガイドライン作成委員会（厚生労働省） 委員
- ・宮崎 滋
日本健康・栄養食品協会 認定審査会 委員長
- ・宮崎 滋
日本糖尿病学会 功労評議員
- ・中西 好子
難病情報センター 運営委員
- ・中西 好子
東日本地区入国者収容者等視察委員会 委員
- ・中西 好子
新興・再興感染症および予防接種政策推進研究 中間・事故評価委員 委員
- ・高木 祐弥
肺がん CT 検診認定機構 第 26 回認定技師試験委員 認定試験_東日本実行委員
- ・高木 祐弥
肺がん CT 検診認定機構 異常所見検出試験に使用する駒澤大学新 PC 教場での視察・プレ実施
及び打合せ_東日本実行委員

論文・著書

- ・宮崎 滋
第1章 肥満症治療と日本肥満学会が指すもの
日本肥満学会 2022年 肥満症診療ガイドライン 2022 P.1-7
- ・宮崎 滋
対談 Cross talk 新型コロナウイルス感染症と生活習慣病 高尿酸血症を中心に
尿酸 Next stage 2022年 第4巻 P.4-7
- ・宮崎 滋
肥満・肥満症の予防・治療 現状と課題
日本肥満症予防協会 2022年 Obesity Report Vol.11 p.1-3

6. 機器整備状況

巡回健診車両撮影装置

撮影区分	台数
胃部・胸部	3
胸部	4

センター内撮影装置

撮影区分	台数
胸部	2
胃部	3
マンモグラフィ	1
CT	1
骨密度	1

センター内検査機器

機器名	台数
VDT 視力計	8
屈折計	1
近点計	4
細隙灯顕微鏡	1
眼圧計	1
非接触眼圧計	2
眼底カメラ	4
視力計	8
自動視力計	4
聴力計	9
聴力計（骨導）	1
血圧計	25
心電計	14
心音心電計	3
心電図モニター	1
心細動除去装置	1
超音波診断装置	9
スパイロメーター	3
パルスオキシメーター	2
呼吸抵抗計	1
エルゴメーター	1
生化学自動分析装置	1
全自動免疫測定装置	1
血液検査装置	1
全自動グリコヘモグロビン分析計	1
全自動赤血球沈降速度測定装置	1
便潜血自動分析装置	1
全自動尿分析装置	1
全自動尿中有形成成分分析装置	1
光学顕微鏡	2

機器名	台数
内視鏡システム	2
内視鏡（経口用）	4
内視鏡（経鼻用）	4
内視鏡（大腸用）	2
内視鏡洗浄機	2
超音波洗浄機	1
高圧滅菌装置	1

事業年報 2022(令和 4)年度

2024(令和 6)年 8 月発行

発行人 宮崎 滋

編集/データ整理 統計解析チーム・情報システム管理課

発行所 公益財団法人結核予防会 総合健診推進センター
〒101-8372 東京都千代田区神田三崎町 1-3-12

水道橋ビル 2F・3F・4F

TEL : 03 - 3292 - 9215 (代表)

URL : <https://www.ichiken.org>
